

銀色の道

夢叶うまで挑戦

学志舎 塾長 山田勝登

一昨日小学生、昨日の中学生の学力テストをもって今年の夏期講習が終了しました。前回の「銀色の道」を発行して2ヶ月をとうにすぎ、作らなければと思いつつもなかなかワープロに向かえなくてやっと今日から…。(8/29)



皆さんはいかがですか、宿題は終わりましたか。私の小学校時代はいつも最終日にあせて宿題を仕上げていました。

5年生の時には9月1日の朝になっても宿題の工作をやっておらず、早起きをして郵便受けを作るのを、父に手伝ってもらった記憶があります。板に鉛筆で線を引き、父にノコギリで切ってもらい、横で私がカナヅチで釘を打って。当然色を塗る時間がなくて、仕上がりが真っ赤になる予定の郵便受けが、板目がおしゃれな？作品となりましたね。

今回のトピックス

- ◇教室便り 七夕大賞・計算コンクール
・オールナイト学習会
- ◇懇談会より
- ◇おしかけ生徒&先生紹介
- ◇四方山話
- ◇編集後記

この夏のオールナイト学習会は、参加人数の関係で2回に分けて開催しました。10日と19日。19日はさすがにへとへとになりました。両日とも朝の8時40分からず〜っと授業で本当に体力勝負。0時頃から眠たくなって、あくびをこらえていると生徒に「塾長、年やね!」と言われる始末。

しかし野球をやっていてそれはつくづく感じます。40の声を聞く頃には、自分の反射神経がだんだん鈍くなっていくことを痛感しました。この7月の試合では、体が頭に反応しないのに、愕然としました。

ストレートを待っていた1-1からの真ん中から外への高めの甘いカーブ。頭の中では「打たなきゃ!」と思いながら全くバットが出ないのです。次の球も全く同じ。

試合中ず〜っと「なぜ?なぜ?」という言葉が頭の中に渦巻いていました。

しかし気持ちはまだまだ若い。生徒に「サブ〜っ」と言われながらも平気でオヤジギャグを飛ばす。一人10分の予定の面談がついつい熱が入り30、40分になってしまう。まだまだ精神年齢と気力と情熱は20代?

さて今回は何日間で「銀色の道」を仕上げられるでしょうか?

教室便り

その1 七夕大賞

6月の下旬の日曜日、長良川の千鳥橋付近から笹の枝を切って来ました。教室において、そう生徒の皆さんに七夕の短冊に願いをこめて書いて飾ってもらいました。



月曜日、さっそく小学生が「塾長、この枝どこからもってきたの?」「長良川沿いの竹やぶ」「盗んできたの?」うっ、人聞きの悪い…。

教室に入ってきた生徒に短冊を渡すと、結構みんなわいわいがやがや楽しく書いてくれました。大賞にはポイントも付くとなると受け狙いの願い?がかなり見えましたね。

というわけでみんなに書いてもらった中から、教師全員の投票による七夕大賞なるものが決定されたのです。

まずは育真館より。事務長以下6名の先生の厳正なる投票の結果です。

1席 金華小3年 I君

「大きくなったらおしろをたてれますように」



大きな家じゃなくて「お城」というところが審査員の先生の心を射止めたようですね。岐阜城より大きなのを建てて、将来先生もタダで泊めてくださいね!

2席 伊奈奈中3年 M君

「年金が払った分の倍ぐらい返ってきますように」



今の政治家に大きな声で言って下さい。本当に切実なる問題です。我々大人が、目先のことしか考えず、いい加減な政治家を選んでしまった結果、君たちの世代に大きなつけを残すことになりました。

今のままでは払った分は間違いなく戻ってきません。ごめんなさい。君たちは将来を見据えて、自分の子供、孫の時代をよくするように、必ず選挙に行って本物のしっかりした政治家を選んで下さい。というより政治家になってみる?

3席 伊奈波中1年 Iさん

「早おきが楽にできるようになりますように」



先生方も皆、思っていたようですね。私も経験があります。夜遅くまで深夜放送を聴いて、朝母に何度も起こされ、なかなか起きることができず、最後にはどなられ、いや～な気分です。学校に行ったものです。ようするに早寝することでしょうか？

続いて至誠館のベスト3です。

1席 長良西小3年 Sちゃん

「ドラエモンがほしいからもらえますように！！」



至誠館の教師満場一致で1席でした。これはもうSちゃんのキャラクターと願いがピッタリはまりましたね。その後、お星様はSちゃんのお願いを聞いてくれたのでしょうか。興味津々です？

2席 青山中3年 H君

「全国制覇」



「ゼンコクセイハ」この響き、なんともいいですね～。硬式野球をやってるH君、高校ではぜひ甲子園で全国制覇を！

甲子園ではいつも初戦か、2回戦で帰ってくる岐阜代表。ぜひ強い岐阜を見せてください。

3席 長良中1年 Oさん

「陸上で1秒でも速く走りたい！」



1秒違えば走っている感覚がぜんぜん違うでしょうね。自分の記録を伸ばすために努力あるのみ。未知の世界（記録）への扉は、今以上の練習によって開かれます。頑張れ！

以上、また来年の七夕まで。

その2 計算コンクール

8月6日小学生2年生～6年生による「計算コンクール」が行われました。当初は育真館と至誠館で実施する予定でしたが、参加人数が思ったより少なかったため、合同で開催しました。

前半は各学年の計算問題を必死になって解いてもらいました。後半はくじ引きで4・5人のグループに分かれトランプ大会。「ハシぬき」で大いに盛り上がりましたね。



後ろから見ているとこれが面白い。おかしくて生徒の周りを回りながらつつい実況中継をしてしまいました。

結果は以下のとおりです。

優勝 京町小4年 S君

2位 岩野田北小4年 W君

3位 常盤小5年 Mさん

S君は計算の部で100点。トランプの部では他の生徒の追い上げを見事振り切り優勝しました。

全員に参加賞と塾長からのアイスキャンデーの差し入れが配られました。



当初は計算と漢字をあわせて実施する予定でしたが、今回計算だけにしました。ということは次に漢字コンクールがあるということです。小学生の皆さん、次回の漢字コンクールは多くの参加者を待っています。

その3 オールナイト学習会

冒頭にも書きましたが、今年は2回開催しました。参加希望者が多くて1回では教室に入らなかったものからです。

中学3年生の誰かに生徒宣誓をやってもらおうと思ったのですが、みんな尻込み。すると2年生のM君が引き受けてくれたので10日は、彼の宣誓でオールナイト学習会は幕を開ける予定でした。

ところが夕方M君から、腕を骨折したから19日に変更するとの電話。7時半に教室へ行き、理由を説明して参加の生徒全員によるじゃんけんで人選しました。

そして決まったのが岩野田中2年のMさん。
堂々の生徒宣誓で今年のオールナイト学習会
は幕を開けたのです。

生徒宣誓！



これから朝まで頑張れえ〜

以下、写真で見ていただきましょう。



順調に進んでます

喉が渴いた
腹も減った…



エッ！
写真撮るの？



カメラを向けても
ひたすら食べる

休憩時間

まだまだ余裕の



深夜のプリッツは
また格別？



気合が入ってる
小林先生



「塾長、可愛く
撮ってよ！」



塾長差し入れのアイス
ウ・マ・イ なあ〜



陣中見舞いに来てくれた
高一のG君
一時すぎより朝まで爆睡

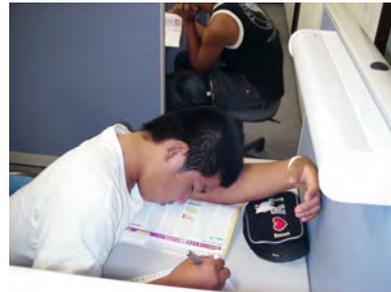
深夜・丑三つ時の
花火大会



こりやまた豪快
みんながたまげた！



ゴホッ ゴホッ
何で俺ばかりに
煙がくるの？



何度かカメラの起動音
に目を覚ますも、ついに
不覚を取る…

最後の一本
きれいだね



ラグビーの練習の後だもん…
起こされた回数今回一番！



今回の撃沈
第一号…3時半

起きろ〜！



3時 さすがにおやつは
もついらない??



4時 やけに静かな
休み時間



5時 あと1時間
頑張り!



一人ひとりと握手を交わし『完習証』を渡す
塾長「よく頑張ったナ！」



8月10～11日 第1次オールナイト組



8月19日～20日 第2次オールナイト組

みんな、また来年も
やろうぜ!!

参考までに今回初めて参加した、長良中学2年のTさんのオールナイト学習会の授業カルテと感想を掲載します。

授業カルテ

至誠館

学年 中2	名前 XXXXXXXXXX	8月10日(水) 11 木
国 (数) (英) 理 社	学校進度	

家庭学習確認	本日の学習
数学 英語	レッスンP10 ①→②(3)(4)(9) 計算ミス レッスンP11、 P12.13 対策問題 P12 ④(4) 歩いているを going で、 walking にする。こゝろ。 ④(4) 現在か過去か。U かりチェック U から問題を解く。 P14.15 全問正解。 P16.17 P16 ④(1) 動詞で始まる命令文に注意 する。 P18.19
英単語 範囲	合格率 % 回目 / 点 合・否
月間宿題 問題	合格率 % 回目 / 点 合・否
100プロ 国() 理() 英() 数() 社()	
次回までの家庭学習	will を 使う 文を のぞいて 全部 正解 P20.21 対策問題 P21 ④(1) 天気が入った文をつくるを最初から から始まる。

オールナイト学習会では、今までで一番長い10時間もがんばって勉強したんだけど、集中できたし、息抜きに花火もできたし楽しかった。こうやって途中で少し息抜きしながら楽しく勉強することをこれから大切にしたいと思いました。

何より今日のオールナイト学習会で、勉強を早く進めることができ、また勉強が楽しく思えたのが良かったです。ですからオールナイトの10時間が思ったより短く感じられました。

また、10時間ががんばったあとの達成感は、サイコーでした。来年のオールナイトにもぜひ参加して、今日のような達成感を味わいたいです。

その4 夏期講習

この夏、中学生と一部小学生は自分だけの夏期講習にチャレンジしました。自分のための計画を自分で立て実行したのです。

計画を立てる時点でかなりの生徒がとまどいました。「どうすればいいの？」って。

今までは先生の指示に従って学習を進めればよかったのが、自分で考えなければならなくなったのですから。

しかしこれが私の目指すところの「学力」アップへの道なのです。今回生徒一人ひとりになぜ計画を立てるのか、これからの子供たちに何が必要なのか、私なりに気合を入れて面談したつもりです。

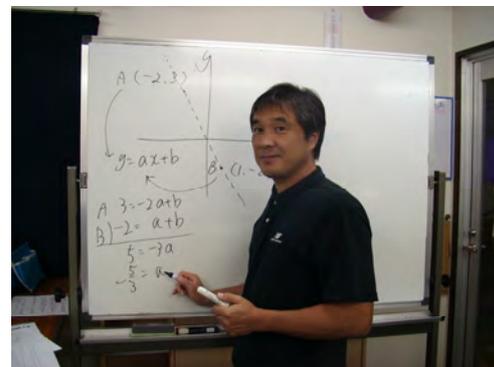
生徒にも言いましたが、与えられたものを与えられるまま、マニュアル通りにしかできない人間はこれからの社会では生きていけません。自分で考え自分で実行できる人間、自分で進む道は自分でルールを引ける人間になってほしいのです。

その道が多少右に左に曲がっていてもいいではありませんか。人から与えられた真っ直ぐかもしれない道を進むよりずっと将来本人のためになると私は信じます。

うちの塾でかつて入塾してから卒塾までで100点アップした生徒は何人もいますが、共通していることは、全員自分で自分の学習のルールを引けるようになったということです。最終私は見ているだけです。あれせい、これせいなんて言いません。「自分でとりに行く学習」、すなわち自学自習ができるようになることが私の目標なのです。

そして塾とか教師は上手に使うものなのです。うまく使って自分の学力を上げる。毎年何人かはその域に達します。今年も一人でも多くの生徒にそうなって欲しいものです。

3年生は毎年100時間特訓を実施しています。ことしも午後1時半から6時半まで20日間がんばりました。



各自テキストを2回通り。そして2学期が始まって10月の第2回岐阜新聞テストまでにダメ押しの3回目を学習します。

3年生諸君、何度も言うようだけど、これから君たちの時間は加速をつけて早く過ぎる。くれぐれも時間を大切に。

秋にはいろんな行事がある。やることはしっかりやって、思い出作りにもがんばれ！

次のページは、長良中学1年のYさんがこの夏実行した計画です。



懇談会より

7月の保護者懇談会では多数のお母さんと話
ができました。入塾案内の「年間予定表」に書
いてある期日より1週間遅れたこともあってか、
別の日に懇談を希望されるお母さんが今まで
で一番多かった懇談会でした。

もっと早くお知らせを出さないといけません
ね。ごめんなさい。

さて、まずは中学3年生のお母さんの話。
学校の先生に関する苦情の話は、年を追うごと
に増えているように思えます。特に学年が上が
るにつれ多くなりますね。過去にはここでは書
けないようなびっくりするような話もありま
した。

今回はそのお母さんの友達の子供さんの話
なのですが、簡単に言えば6月時点の懇談会で
担任の先生に志望校変更を告げられた、という
ことです。まだ入試まで8ヶ月もあるのに。

お母さん曰く「その子の成績がこの先上がら
ないと言うんですかね」まさにその通りです。
生徒がどうあがいても無理な場合を除いて、志
望校のランクダウンは最後の最後でいいので
す。

私の場合は夏休み前でも、5科目で100点な
ら射程距離だと生徒に言います。実際過去に、
それをクリアーして見事志望校合格を勝ち取
った生徒は何人もいます。ただ、彼らの努力は
本当にハンパじゃなかったですけど。くらいむ
倶楽部(中3の受験対策コース)でも朝から夜
までず〜っと教室にこもりっきりでしたね。そ
して私を捉まえると私がたじたじになるほど

の質問攻め。

人間目標が低ければそれなりの努力しかな
いものですよ。

とまあ、やる気の無い授業、生徒に対して情
熱の無い、いい加減な指導しかできない、困っ
た先生の話は保護者のみならず生徒からもよ
く聞きます。

4月の始業式では小学校でも中学校でも、お
母さん方の話は「うちの子〇〇先生の担任でよ
かった」「また△△先生、最悪!」なんて話で
もちきりでしょう?

2004年度中に「指導力不足」とされた教師
は、これまでで最高の全国で約560人。また
それで研修を受けた教師は約400人。

しかしこれは氷山の一角といえる数字です。
なぜなら保護者、生徒から聞く「困った教師」
が研修を受けに言った、などという話はきいた
こともなく前述のような授業、指導を依然と続
けているからです。

指導力不足の教師が増えている問題を受け
て、さすがに文部科学大臣の諮問機関である中
央教育審議会が「教師の免許更新制」について
議論しているのです。

ところがこれがまた???の方向に進んで
います。

教員の免許を10年毎に更新しようという方
向はよいのですが(欲を言えば5年くらいにしてほし
い)その内容が問題なのです。現職員は例外で、
これから免許を取得する若い教師に適用する
とか。

今現在の教職員の資質低下、指導力不足が



問題になって審議会で議論するようになったのに、その議論の根本である問題のある現職員―「困った先生」に免許更新制度を適用しないで、何の解決策になるのでしょうか？

その理由がなんと「更新を前提にしない制度で免許を取得しているため」なのだそうです。う〜む、開いた口がふさがりません。

お上のすることは本当によくわかりません。

「教員の資質・能力の向上」を目指しての中央教育審議会作業部会の議論とは、いったい何のため、誰のための議論なのでしょう。

子供たちのため？失格教師のため？

ゆとり教育問題でもそうでした。いりか減なことをしていつも犠牲になるのはこれからの日本を背負っていく大切な子供たちなんですから〜。

間違えないでください。不適格の先生は一部で、先ほど書いたように保護者から自分の子供の担任になってもらってよかった、と言われる先生は大勢いるのです。そういう先生は、例えば免許の更新制度が実施されようが、問題なく更新され今まで通り生徒の指導をずっと続けてもらえるんですがね…。

私の長女が6年生のときの担任は40過ぎの男性でしたが、いい先生でした。「本気」が伝わってきましたね。

いくら繕っても授業を見れば、懇談会で直接話をすれば、その先生が「本気」かどうかわかります。私も一昨年から、実際に自分の目で確かめてみようと、子供の懇談会に出るようになりましたが…。

義務教育の公立の学校は、塾のように自分で自由に選べません。先生も自由に選べません。だったらそれなりの教育環境をしっかりと整えるのがお上の仕事なのですが、みなさんはどう思いますか？

ここでひとつ。うちの教師の教育学部の学生で、教育実習に行った者全員が必ず感心して帰ってくる学校があります。それは東長良中学です。

基本的に何が違うか？昨年教育実習に行った山口先生はこう言っていました。それは私がうちの教師に常々言っている、生徒に対する「情熱」「本気」。

生徒に「本気の姿」を求めるからには教師も「本気」にならないといけない、という雰囲気は校長以下先生方全員が持っている。同じ科目の先生同士が負けない内容の授業をしようと競い合っている。そして授業の内容も各々の先生が毎年研究して変えているとのこと。仕事で学校に泊り込む先生もいて、教師が皆プライドと語弊があるかもしれませんが、エリート意識を持って教えているということを言っていました。

まるで私立中学のように、民間企業のように競争原理が働いているのです。岐阜県、市の指定校になっているとはいえ、たいしたものです。そういう学校なので東長良中は他の中学より入試の成績が抜きん出ているのでしょかね。

最後に山口先生、私を見てニヤッと笑い
「教師がみんな若いんですよ」
コラッ！

続いては至誠館の長良東小学校2年生のHちゃんのお母さんとの話です。

お母さんのことは以前の「銀色の道」に少し書かせてもらいました。雨の日も、雪の日も子供のために思って学校には送っていかない、という話を覚えている方もいるでしょう。話をしているうちに、私が以前教育関係のことをネットで見ていて、親に対する面白い問題があったのをふと思い出し、それを質問したのです。

〈問題〉

小学生のA君は土曜の2時からピアノ教室に通っています。がんばっているので親としては続けてほしいと思っています。

ある土曜日、突然A君のおじさんがやって来て科学館に行こうと誘ってくれました。おじさんの子供、つまりA君の従兄弟のB君、C君も一緒です。あなたの答えは次のどれに近いですか？

- ① おじさんたちと行かせる
- ② 自分で行きたいほうを選ばせる
- ③ ピアノ教室に行かせる
- ④ 帰ってきたらピアノの練習をするという約束で行かせる。

お母さん、即座に「私は絶対にピアノに行かせますね」 **ぴんぽ〜ん** 正解です。

それでは診断結果です。



①を選んだ人×

このような場合、多く使われる言葉が「今日だけ特別」。「今日だけ」とか「特別」などという事で習い事をサボってしまうのが、習い事が続かない最大の原因です。1度やっとうと、次はもっと簡単に「今日だけ特別」を使うようになります。決めたことをしっかり続けさせることが大切です。

②を選んだ人×

自分で行きたいほうを選ばせると、通常習い事より楽なほうを選びます。このようなときに子供に決めさせるのは、親の「逃げ」に他なりません。子供に対して、しっかり方針を示すべきです。

③を選んだ人◎

習い事をきちんと続けさせるには「今日だけ特別」という例外を作らないことです。習いごとだけではありません。生活習慣でも、何でも、決めたことを続けさせるには、いい加減な例外を作らないことが一番大切です。ひとつの危機を乗り越えたときに、続けることへの決意は一層強くなるのです。

④を選んだ人△

ピアノを続けることへの配慮がある点はいいのですが、これまた「今日だけ特別」という言葉に負けていることに変わりはありません。

☆ポイント

例えば、生活習慣として、夜は9時に寝ると決めてあったとします。それを守り続けることは、とても意義があります。健康面でもとてもいいことですし、決めたことを守るという点でも教育的に大きな価値があります。

ところがそれがなかなか守れないのは「今日だけ特別」という日があるからです。親戚や従兄弟が遊びに来ているとか、大晦日だとか、いろいろ誘惑があるのです。

もちろん、多少就寝時刻を破っても親戚や従兄弟との交流を大事にしたいというのもひとつの価値観です。そちらを選択する人もたくさんいるはずで、それについては、個人の判断ですからそれでいいのです。

ですがここで大事なことは次のことです。つまり、例外が決まりをだめにするということをしつかり頭に入れた上で、判断する必要があるということです。

そのサイトでは以上のように書いてありました。

実はわたしは④に近かったのです。ピアノを別の日に変えてもらって行かせる。多分おじさん、つまりわたしにとっては兄弟に、せっかく誘ってくれるんだから、と少し気を使って行かせるだろうな、と思いました。

悠ちゃんのお母さんなら間違いなく③を選ぶだろうと予想していたので「やっぱりそうですか」と思わず言ってしまいました。

私はこの問題にはポイントに書いてあるように、それぞれの価値観がありますので、いち

がいに正解は「これ」とはいえないと思いますが、読んでみて、考えれば考えるほど私にとっての正解はやはり③だな、と思えます。

実は5月、長男が修学旅行に行く前にこういう話がありました。

うちの子供は山口先生と川村先生に見てもらっていますが、修学旅行から帰る日が、川村先生の日で、長男曰く「多分その日疲れているから別の日にして」私は「甘えたこと言うな」と即座にはねつけました。

ここ4、5年でしょうか、修学旅行から帰った日に塾を休む生徒が増えたのは、それまでは帰った日に塾を休んだ生徒の記憶がほとんどありません。生徒はみな、「寝てないで疲れた〜」「今帰ってきて、ご飯食べてダッシュで来た」とかいいながらも、お土産を持ってきてくれて、楽しそうに旅行の話聞かせてくれたものです。

塾でもそうですが、成績がグングン上がって行く生徒、成績上位の生徒の方が振り替えをしません。塾も休みません。そして遅刻をしません。

そう、例外を作らないんですね。決められたことをしっかり守るということは、やはりそういった点からも大切なことですね。

Hちゃんのお母さんと話をしていると、分かっているにもかかわらず自分が今までやってこれなかったことが頭に浮かび、反省することしきりでした。

お母さんはこういうことも言っていました。「私は子供の人生に、いつまでもついていてやれるわけではありませんから」また、笑いながらですけど「この子が生まれて8年間、ず～とつらい思いをしてきました」

お母さんは「今一時の子供の笑顔」ではなく「将来の子供の笑顔」のために、時に心を鬼にして頑張って戦ってるんですね。

お母さんと話していて、私はふとTVで見た佐渡島の「稲の不耕起栽培」の話を思い出しました。(昨年夏のチラシに掲載)



「稲の不耕起栽培」とはなんぞや？

普通、稲は苗を植える前に、田んぼを耕して土を柔らかくして、根が十分はりやすい様になります。ところが不耕起栽培は、耕さずに固い土壌のまま苗を植えるのです。

最初はもちろん耕した田んぼの苗の方がはるかに早く成長します。なぜなら固い土になかなか根がはれないからです。ところが固い土にいったん根を伸ばし始めると、不耕起栽培の苗は力強くぐんぐん成長し、耕した田んぼの苗に追いつき、秋にはより美味しい米を実らせるのです。

番組の最後に「不耕起栽培とは何か？」との問いに、技術指導員の方はこう答えたのです。

「稲を甘やかさないということです」

押しかけ生徒&先生紹介

今回は育真館の伊奈波中1年の

T. K君を紹介します。

日下部君かお母さんから、毎回「銀色の道」を配った当日に感想のメールが届きます。

前回は配った日の夜に日下部君から「銀色の道面白かったです。もう少し発行頻度をあげるといいと思います。お母さんが井上陽水のレコードを懐かしがっていました」とのメールが届きました。

ごめんなさい。前回(4ヶ月)よりは短いのですが、今回も私の目標である発行期間2ヶ月をすぎてしまいました。

また彼は今回当塾の「成績 Best 3」を塗り替えてくれました。そう1学期の期末試験が**470点**だったのです。ポイントもずいぶん付きましたね。(2年後の実テでは496点 英雌伝説に認定)

K君は電車が好きで、よく時刻表を読んでいたそうです。そして東海道の駅名や電車の名前をほとんど覚えてしまったそうです。小6の時には、京都にいた担任の先生が新幹線の時間を聞くのに、彼の家で電話をしたというエピソードもあります。残念かなそのとき彼は留守でした。

私はためしに彼にこんな質問をしてみました。

「大阪から青森まで、電車での行き方を教えてください？」

恐るべし、彼は即座に鉛筆を持ってメモ用紙に以下のようにスラスラ書きました。

A大阪—金沢（富山）＊サンバード（特）

金沢（富山）—新潟＊北越（特）

新潟—青森＊いなほ（特）

（新潟—秋田＊いなほ 秋田—青森＊かもしか）（特）

B大阪—新大阪＊在来線（新快・快・普）

新大阪—東京＊のぞみ（超特）

東京—新潟＊とき（超特）

新潟—青森＊いなほ（特）

C大阪—青森＊日本海（寝台特）

D大阪—新大阪＊在来線（新快・快・普）

新大阪—東京＊のぞみ（超特）

東京—八戸＊はやて（超特）

八戸—青森＊白鳥・スーパー白鳥・つがる（特）

どうですか、瞬時にこれだけ書いたのです。私はもうビックリ！それでも彼は「最近時刻表を見てないのであまり覚えてない」とか言っていましたけど…。

それでは彼に作文を書いてもらいましたのでどうぞ。



僕は昔、刈谷という町に住んでいた。その町で僕は電車と出会ったのだ。刈谷の目の前には東海道本線という線があった。そこに電車が通るたび、僕はガラスに耳をつけたり、窓越しに電車を見たりしていた。

そしてこんな僕にチャンスが回ってきた。ディズニーランドに行く、という事が決まったのだ。ディズニーまで行くのに使うのは、当然新幹線。運の良いことに東刈谷の隣に三河安城という新幹線の駅があった。ディズニーの事は全く覚えてないが、新幹線に乗った事だけは、今も鮮明に覚えている。

しかし最大のピンチが僕に襲いかかった。4年程住んだ刈谷を引っ越すことになったのだ。そして引っ越してきた土地は、ここ岐阜。幸いなことに、岐阜にも電車が走っていた。しかもJR高山線、東海道本線、名鉄線等たくさんある、なんと運の良い。

そして中1の夏休みまで、岐阜から岐阜まで何回乗ったか数え切れない程電車に乗った。電車だけで北海道に行った。電車だけで九州を周った。僕にとって電車はかけがえの無い存在になっていった。

ところで僕は中1から一人旅を始めている。一人旅といっても電車で10分くらいのところまで、電車を見に行くためだけに行く。僕にとってはこれ以上のことは無いほど嬉しい一人旅だ。今まで、木曽川、岐南、長森…と、すぐ近くの駅ばかり周っていた。今度は大垣の方に行こうと思っている。

そして僕の夢はもちろん、運転士である。JR西日本であんな悲しい事故があっても



運転士になりたい。みんなも「何かあってもやり通したい!」と思える夢を叶えて欲しいと思う。

K君ありがとう。最後には私がみんなに言いたいことまで言ってくれて。

本当に電車が好きだということが伝わってきますね。岐阜駅から岐阜駅までの長森とか岐南を折り返しての一人旅ですか、いいですね。

電車に乗ってもきっと一番前の車両に乗り、運転士と同じ風景を見ているんじゃないですか?

何事も**夢 叶うまで挑戦!** ですよ。

先生紹介

トップバッターは学志舎の最古参教師、末次藍子先生です。家も塾から結構近くて長良西小、長良中の生徒にはいい先輩ですね。



私が塾講師をはじめた頃小学生だった生徒達がこの4月からもう高校生になりました。子供が成長するのは早いですね。

私は昨年3月大学を卒業し、現在は大学院修士2年生です。専攻は工学の化学で、プラスチックやビーカーを使いながら薬品と過ごす毎日です。化学専攻の大学院生は講義も少しはありますが、ほとんどが研究と実験です。私の研究室は忙しいので1日の半分以上を大学で過ごします。大学から直接塾に行ってまた大学へ戻る生活です。昔から典型的な理系で、文章を書くのは苦手なので、今回はかなりいっぱい×2…。

同じ年の子のほとんどが社会人で、友達の中には教職につき小中学校の教師をしている子もいますし、塾講師を本職にしている子もいます。社会人になった子は少し大人っぽくなります。一番それを感じるのには教職に就いた友達です。職場の環境や責任感などが人を変えるのだと思います。

学志舎の講師は塾長のこだわりで全員大学又は大学院に通う学生です。夜は講師で昼は生徒、と先生と生徒を毎日両立しています。立場に縛られない柔軟な発想と生徒により近い大人、受験を経験した一番近い立場が、社会人になり利点だと塾長は言ってます。

また、学志舎は小学生と中学生の時間は区切られていますが、違う学年の子が同じ教室内で同時に学習をします。これから秋、冬と受験を乗り切る中3生の緊張感を1、2年生の生徒達も感じる事ができます。同学年の子達とばかり学習している子にはできない良い経験になると思います。

私が思う学志舎の1番の魅力は「居残り」です。本当は居残りなどせずきちんと勉強してほしいのですが…。勉強をさぼって来た子に、できるまで何時まででも無料で付き合ってくれる塾はそうはないと思います。さらに宿題を出す訳でもなく、きちんと最後までやりとげたことを見届けてもらえるのはすごい事です。

今年はすでに丑三つ時を過ぎたことが3回あるとか。(4月、6月、8月)先日の26日は3時20分まで塾長は生徒と一緒に残っていたそうです。オールナイト学習回で2回も徹夜して、すぐまた3時過ぎまで…。「年だ」なんて冗談で生徒に言われているようですが、結構タフな塾長ですよ。しかし先ほども書きましたが、居残りなんてしないように勉強してくる事が1番大切ですよ。



最後に、私は学志舎の中ではどちらかというところと厳しい方ではありませんが、なるべく生徒と同じ目線で学習していく事と、塾長の口癖の「本気」と「熱」を、学志舎の教師として生徒に伝えたいと思っています。

末次先生ありがとう。研究室の都合で時間的

に中学生、高校生を今は教えてもらっていますが、大学生時代は小学生に大人気でしたね。今でも中学生の女の子に熱烈なファンがいますよ。これも先生のもっているキャラクター、一見ほんわかとした雰囲気なんだけど、やるときは結構びしっとやるメリハリがいいのでしょうか。来年は社会人になりますが、本年度いっぱいよろしく！

四方山話

① 定期試験

6月の定期試験ではチャレンジ76を実施しました。これはテストの成績が前回よりアップした生徒の割合が、当塾の過去最高で75%なので、それを抜こうという試みです。

ですから今回試験が初めての1年生を除いた2、3年生が対象でした。今まで何回もこの数字に挑戦して来ましたが、あともう少しのところでこれがなかなか破れない。昨年は最後の一人の結果待ち、というところまで行きましたが…。今回は達成できたら、上がった生徒全員に30ポイントの「人参」を用意して試験に臨みました。

しかしこの数字、本当にすごい数字なんですよ。塾生4人に3人は上がらないといけないなんて。普通の塾は半分上がって半分は下がるんです。でないと、どの中学校の定期試験の平均点も60点→70点→80点、挙句の果てには90点というふうに上がってしまうでしょ。半分上がり半分下がるから平均点は毎回60

点～65点くらいに落ち着いているのです。

結果は・・・ざんねんでした。しかし長良・至誠館だけに限って見れば、3年生は10人中7人アップ。2年生は8人中7人アップ（下がった1人の生徒は5科目合計18点ダウン、しかし学年平均では40点以上ダウンで実質は上がっていた）と76%以上を達成していたのです。

至誠館の2, 3年生は本当に良く頑張ったと思います。今回は特別に至誠館の上がった生徒に半分の15ポイントを加算しました。

（こういう「今回だけ特別」ならいいでしょう?）

長良中学の生徒は前期の期末テストが今日終わりますね。結果が楽しみです。次回11月の定期試験では育真館の生徒、こころしてかかれ!

②三菱自動車

私は度重なるリコール隠しでお騒がせの三菱自動車に乗っています。7月に車検に行き、その後オイル交換に行きました。するとオイルが妙に減っているのです。お盆明けに代車が用意できるので、その頃エンジンを調べますとのことでした。また「車検のときに分からなかったのは不注意だったので、無料でやらせてもらいます」と整備の方が言ったのです。

そしてお盆明けに私は三菱に行きました。ステレオ、ナビの計器類の下に物入れがあるのですが、そのふたのバネがはずれてふたが閉まらなくなっていたので、それも直してもらおうようお願いしました。

数日後車を取りに行きました。すると物入れ

のふたは留め金がこわれていたので新品に交換したとのことでした。そしてそれも無料。

使っていて壊れるものはディーラーの責任ではないと思うのですが、すべて無料ということで私が恐縮してしまいました。メーカーの経営幹部の不祥事のため、車の売上げが激減したから今回サービスをしてくれたのかもしれませんが、当たり前のサービスにはそれなりの対価を支払うのは当然のことだと思います。

私は整備の方に「本当にタダでいいの?ありがとうございます」「いいえ、またお世話になることがあるかもしれませんので」そう言った彼の笑顔がとても爽やかでした。

よくよく思い出すと、無料は今回だけでなかったのです。帰ると事務長曰く「また、ふたタダで交換してくれたの?」そう、これで2回目。悪いのは壊した わ・た・し。

以前にはスポ少の車出し当番で、試合に行く途中、息子の友達が酔ってしまい、車の中でもどしてしまったことがありました。座席横のシートを固定する部品のカバーの間にゲロ（汚くてもめんなさい）が入ってとれなくなったのです。

私は試合の合間に三菱に行ってお願いしました。整備の若い方は座席横のカバーの中をのぞくや「うっっ～」と一瞬もどしそうになりました。

「大丈夫ですか?臭いし、汚いですからね」彼は口を手で押さえて「あ、すみません。やるときますので奥でお待ちください」

そして部品をはずし、中をきれいにしてもらって「おいくらですか?」「あ、いいですよこのくらい」。私は彼が部品をはずし、もどすの

をこらえながら、ゲロの始末をしてくれたことを思って「ありがとう、少ないですがコーヒーでも飲んで下さい」とお礼を言って1000円をそっと渡したのです。

正当なサービスに対しては、それなりの対価を支払うのは当然のことです。無料でやってもらえるのはありがたいことですが、きちんと請求してくれてもいいのにな、と思います。

しかし…いつ行っても赤のつなぎを着た整備員、きびきび、てきぱき気持ちのいい対応です。

③デジカメ

7月下旬にデジカメを買い換えました。中体連の応援に行き生徒の写真を撮るのに、体育館などの少し暗いところでは、どうしてもぶれて、きれいに撮れないのです。そこで暗いところでも感度を上げて撮影OK、早い動きにもぶれないとのふれ込みのカシオのカメラを買いました。



デジカメはこれで3台目です。1台目と2台目はMカメラで購入しましたが、今回は値段が安かったのでKカメラで購入しました。

購入前、実はカシオとフジの製品で迷っていたのです。Mカメラでは家電メーカーのカメラは画質がもうひとつなので、カメラメーカーのキャノンとかニコン、フィルムメーカーのフジのカメラをお勧めします、とのことでした。Kカメラで説明を受けると心配だったカシオの画質について「レンズはニコンのものを使っているので全く問題はありません」とのこと。それで事務長にお伺いをたてると、画質が同じならデザインが素敵なカシオの製品がいいとのことで購入を決めたのです。

ところが実際今まで使っていたソニーに比べて写真が赤みがかっている。ネットでよくよく調べてみると、なんと私が購入したカシオの製品は「デザインと薄さ、携帯性を求めるなら画質は目をつむって…」と酷評されているではありませんか。

また書店でカメラ雑誌の批評を見るとカシオの製品は他社に比べて赤みがあるとのこと。う〜む、店次長さんもっと勉強して下さい。

ウリである感度も、実際に薄暗いところで感度がISO1600まで上がったの撮影では、もうL判の写真でもノイズだらけです。フジのカメラにしておけばよかったな〜と思っていた矢先のことでした。



お盆で帰郷した際に、12日まで正常だったカメラの液晶画面が、14日に海に行ったときには上部半分が映らないのです。

岐阜に帰ってKカメラに持っていくと「落としませんでしたか？」とたずねられました。そんな覚えは全くありませんので、落としてない旨を伝えると「メーカーに出しますが、故障の原因が、落としたり、画面に圧力がかかって液晶が壊れたときは保証期間内でも修理に実費いただきます」と言われたのです。「えっ？」と思って保証書を見るとなるほどそう書いてありました。

私がなぜ「えっ？」と思ったのか、それは1台目、2台目を買ったMカメラでは、落下時の故障も保証していたからなのです。

1台目のデジカメを買った直後のことでした。モンキーパークへ行って初めてデジカメを使った後、カメラの調子が変わるのです。Mカメラに持っていくと、すぐに新品に取り替えてくれました。なんと後でわかったことなのですが、子供がカメラを落としていたのです。そういうことがあったので、私は勝手にどこでも同じ保証がついているだろうと思い込んでいたのです。

しかし今回は落とした覚えは無い。ふと思いつくと、12日の夜写真を撮った後、私はカメラをケースに入れ、ズボンのポケットにいれたまま酔っ払ってごろごろしていた。

そのときに画面に圧力がかかって壊れた可能性は無きにしもあらず…。

ほどなくKカメラより「メーカーで調べた結果、原因は画面に落下とか無理な圧力がかかって故障

した。そして修理に9,450円かかる」との電話がありました。私はしょうがないので「分かりました、お願いします」と元気に応えるしかありませんでした。保証内容はどこでも同じだ、と思い込んで買った私が悪いのですから。

「安さ」につられて、それまでのMカメラからKカメラに浮気をしたために、結果かえって高くつくことになったのです。トホホ。

やはり「値段」には何か理由があるのですね。今回の私は…安物買いの銭失い…？

言っておきますがKカメラには全く落ち度はありません。悪くありません。そんな故障さえなければ安く買えたのですから。

ただ、皆さん、値段だけでなく、内容を良く調べた上で買い物をしましょうね。

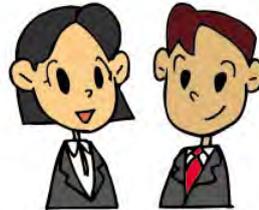
④ポイント

さて毎回みなさん入室したときに塾生証をカードリーダーに通して何ポイントになったか楽しみにしてますよね。

毎回の通塾ポイント以外にスペシャルポイントがあるのは知ってると思いますが、今回は7月のスペシャルポイント（誕生日P、入塾記念日Pは含まず）ゲットBest 3を発表しましょう。まずは小学生

- 1位 長良西小6年 Oさん 23P
- 2位 金華小5年 H君 21P
- 3位 長良西小6年 K君 18P

ではその内訳を見ていきましょう。



○さん

(皆勤8 p 宿題8 p 数検受験2 p 漢
検合格3 p 保護者懇談会出席2 p)

H君

(皆勤8 p 宿題8 p 100点テスト3 p
保護者懇談会2 p)

K君

(皆勤8 p 宿題8 p 保護者懇談会2 p)

中学生の部

1位 青山中3年 ○さん 83 p

2位 岩野田中2年 Mさん64 p

3位 伊奈波中1年 K君63 p

さて内訳です。

○さん

(皆勤8 p 宿題8 p 努力賞40 p 成績
アップ5 p 100プロ3 p 月間宿題2 p
チャレンジ76-15 p 保護者懇談会2
p)

Mさん

(努力賞40 p 成績アップ5 p 月間宿題
2 p 保護者懇談会2 p チャレンジ7
6-15 p)

K君

(皆勤4 p 漢検合格3 p 宿題4 p トッ
プランク50 p 保護者懇談会2 p)

やはり小・中とも「無遅刻無欠席」、「宿題はちゃんとやってくる」、そして「成績が上がる」ということがポイントゲットの大原則ですね。もう一つ、検定試験を受験することも見逃せません。

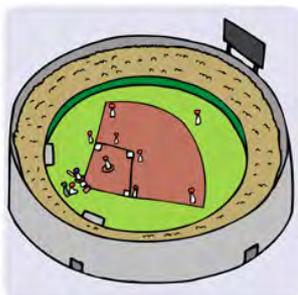
今回はすでに何人もの生徒から、検定試験の日時の問い合わせがありました。これは今までに無い盛り上がりです。うれしいですね。

検定試験のお知らせを同封しますので、今まで受験したことがない生徒も今回はチャレンジしてみてください！

この秋はみんなと一緒に隣の席で、学志舎の先生方も多く受験しますよ。お楽しみに！

編集後記

ふっ、やっとゴールが見えてきました。夏も終わり秋です。今年の甲子園は始まりから終わった後まで、ゴタゴタ続きで後味が悪かったですね。朝8:40~よる9:00まで夏期講習で教室に缶詰だったので土日しか見れませんでした。決勝戦を見て「おや」と思ったのが、まず京都西の応援団の紹介のときに、団長が「感謝」と書いた鉢巻をしまっていたことです。それは初戦で負けた沖縄尚学高校の団長から、勝者の応援団へ次々



に受け継がれていったものでした。

応援団長の鉢巻が「**必勝**」ではなく「**感謝**」というところがいいじゃないですか。

高校時代甲子園に母校の応援に来れたことに、甲子園に連れてきてもらった選手に、団長という役をやらせてもらったことに、団員ほかブラスバンド、生徒みんなが協力して応援してくれることに、寄付金を出してくれたOBに、高校に行かせてくれた親に、指導してくれた先生に、その他色々感謝の思いがその鉢巻にはこめられていたと思います。

その鉢巻を締め、精一杯青春の限りを尽くして炎天下のもと、応援してたのですね。その感謝の思いを、その青春の汗を決勝戦までつないできたことが、私にはすばらしく思えました。

そして試合後、優勝した苦小牧のキャプテンと6番の選手がインタビューされたのですが、6番の選手の「周りのみんなに**ありがとう**と言いたい」。これまた誰かの「チョー気持ちいい！」なんて感想より、なんとさすがしくて、謙虚で、素直な思いなんでしょう。うんうん。

その時ふと、私の頭に岡山の串田先生の事が浮かんだのです。串田先生とはニューズレターの交換をさせていただいておりますが、過去において「ありがとう」「感謝」ということをよく題材に書かれており、私の中では先生は「ありがとう」の大家というイメージだったのです。

するとほどなく、先生からニューズレターが届きました。なんとバックナンバーより「ありがとうの話」の特集。

そしてすぐその後、「幸せを呼ぶ方法」が書かれた小冊子が届きました。これは先生が7月号のニューズレターの中で「希望者限定10名に差し上げます」と書いておられたので、すぐに「小冊子希望」とメールを打ったのです。

それが間を入れず到着。内容はというと、ある青年がイスラエルに旅行に行き、そこで一人のおばあさんの家に泊めてもらう。そしてその後、アンビリーバブルな不思議な体験をするのです。それ以上は書けません。ノンフィクションの物語です。

しかしこの冊子に書かれている内容が**すごいです**。私はただただ感動!!!そしてこの小冊子には、本当に幸せになれる秘訣がつまっていたのです。

ビッグニュースです！

私は串田先生にメールを打ちました。「うちの塾生と保護者の希望者に、先生からいただいた冊子と先生のニューズレターをプレゼントして、幸せになる方法を教えてあげてもいいですか？」

串田先生はこころよく了解してくれました。というわけで先着20名限定で、私からプレゼントいたします。ご希望の方は、巻末に記載したメールアドレスへ今すぐどうぞ。

冊子を何度も読んで実行して下さい。実行し続ける**あなたは確実に幸せになれます！**少なくとも私はそう信じています。

最後に下記の詩をお届けして、今回の「銀色の道」を終わりにします。

「子どもが育つ魔法の言葉」という本の冒頭にある詩です。ご存知の方もいらっしゃると思いますが。お父さん、お母さん、できればこの詩を何度も声に出して読んで下さい。

大切なお子さんのことを思い浮かべながら・・・。

学志舎 塾長 山田勝登

「子は親の鏡」 ドロシー・ロー・ノルト



けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる
とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる
不安な気持ちで育てると、子どもも不安になる

「かわいそうな子だ」と言って育てると、子どもは、みじめな気持ちになる
子どもを馬鹿にすると、引っ込みじあんな子になる

親が他人をうらやんでばかりいると、子どもも人をうらやむようになる
叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう

励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる
広い心で接すれば、キレる子にはならない

誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ
愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ

認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる
見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる

分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ
親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る

子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ
やさしく思いやりを持って育てれば、子どもは、やさしい子に育つ

守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ
和気あいあいとした家庭で育てば

子どもは、この世の中はいいところだと思えるようになる



今回も最後までお読みいただきまして、ありがとうございます。前回「お友達にあげたいので余分に下さい」とのメールをいただきました。複数部御入用の方は、どうぞ遠慮なくお申し出下さい。

また、どんなことでも結構です、ご意見ご感想その他・・・climb965@msn.comまで